

第66回関西エスぺラント大会

公開講演

広瀬浩二郎(国立民族学博物館 / グローバル現象研究部・准教授)

『目に見えない世界のフィールドワーク

梅棹忠夫とエロシェンコの“夜”を比較する』

視覚優位の現代社会であえて視覚に頼らない『触文化』を提唱する文化人類学者。合気道有段者。目に見えない世界をこれほどまでに深く哲学することにより、晴眼者にも驚きに満ちた世界を見せてくれる。著書に『さわる文化への招待』『身体でみる異文化』『知のバリアフリー』など

藤原敬介(京都大学白眉センター / 大学院文学研究科・特定准教授)

『大学でのエスぺラント体験』

川崎直一教授がタネをまき、タニヒロユキさんが大切に育てた大阪大学のエスぺラント講座は開講以来、半世紀以上の歴史持つ伝統授業。おそらく千人以上の学生がエスぺラントを学んだこととなります。あとを継がれた藤原敬介さんがどのような思いで授業をされているのか、講義を通して感じられたこと、大学でエスぺラントを教えることの意義、学ぶことの意味、今どきの学生気質、今後の展望などについてお話ししていただきます。

5月27日(日) 午後1時～4時

千里山コミュニティーセンター

BiVi 3階 多目的ホール (入場無料)

阪急千里線 千里山駅前